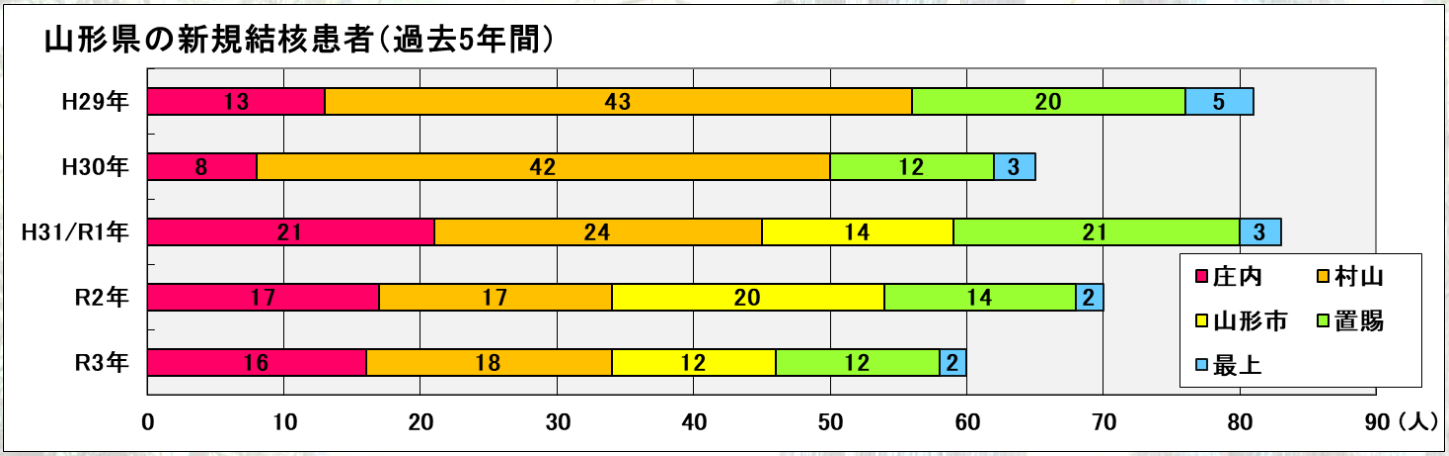
庄内地域における結核発生状況　山形県庄内保健所

1　山形県内の新規結核患者数

山形県内の新規結核患者は**毎年６０～８０人超**報告されています。

結核は過去の病気ではなく、現在も新しい患者が発生している、対策が必要な感染症です。ただし昔言われていたような「不治の病」ではなく、**薬を毎日飲んで治療すれば治る病気**でもあります。

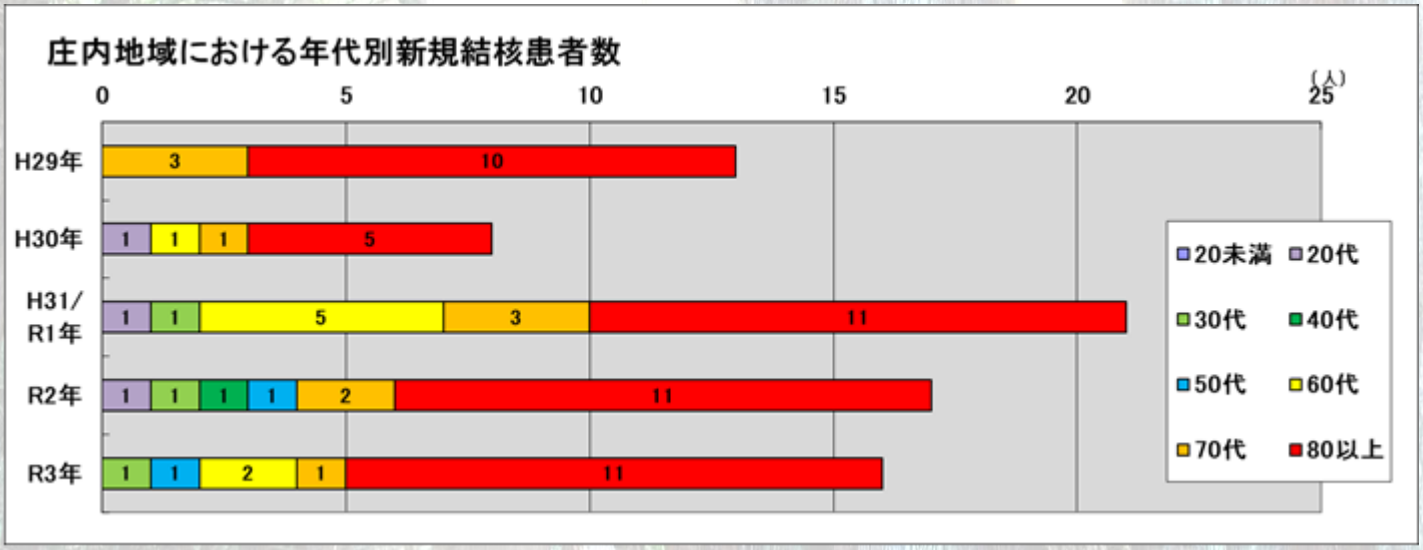


2　庄内地域の新規結核患者数

令和３年の庄内地域の新規結核患者は１６人の報告がありました。

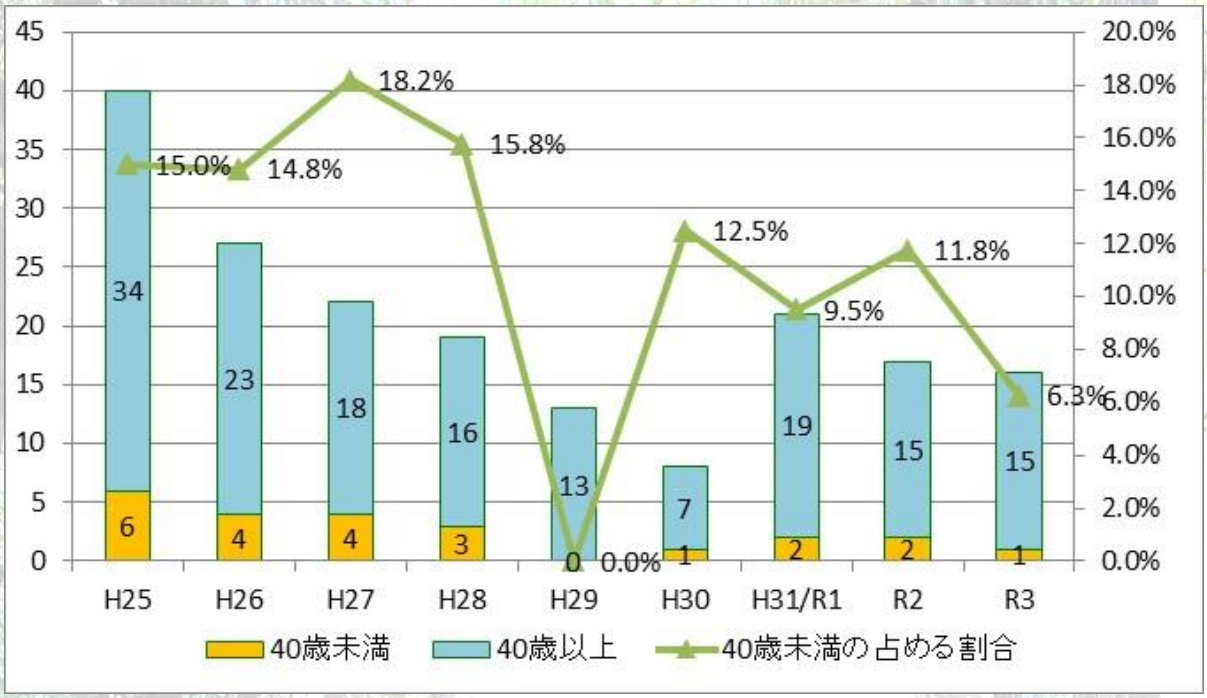
年代別では、どの年も**６０代以上の高齢者が約８割を占めている**ことが分かります。

若い頃に知らないうちに結核菌に感染し、高齢となり、身体の免疫力が弱まり結核を発病するケースが多いと考えられます。



加齢や病気などで免疫力が落ちると、抑え込まれていた結核菌が再び活動をはじめ、発病することがあるので、注意が必要です！

一方で、40 歳未満の若い世代からも結核発病者が報告されています。



棒グラフは年間の結核患者報告数を、折れ線グラフは、報告数に対する 40 歳未満の結核患者の割合を示しています。これを見ると、40 歳未満の患者の割合はほぼ横ばいで推移していることがわかります。（Ｈ２９のみ０人）

若い方も結核に注意が必要です！！！

近年は、多くの人がさまざまなところへ行き来するようになりました。そのため、若い世代でも、知らず知らずのうちに結核菌に感染し、体内に結核菌を保菌している人が増えている可能性があります。

海外に仕事や旅行に行った人、海外からやって来た人が感染しており国内に持ち込まれ感染が広がることも…。

結核は過去の病気ではありません！！

この機会に結核について正しい知識をもち、身近に起こりうる病気として日ごろから健康管理に気をつけましょう！！！

「せきやたんが出る」「微熱が治らない」などの症状が続いたら

早めに医療機関を受診しましょう。

結核については、
庄内保健所のホームページからも
ご覧いただけます。
右記コードを読み取り、ご覧ください。 ⇒

『複十字【Double-Barred Cross】』は
結核予防運動の
シンボルマークです。

結核の予防方法について

１　生後１歳までにＢＣＧ接種を受けましょう！

ＢＣＧは、結核に対する免疫をつけて、乳児の重症化を防ぎます。生後１歳まで（標準的接種期間は生後５～８ヶ月）に、必ずＢＣＧ接種を受けましょう。（長期にわたり療養を必要とする疾病にかかったなど、特別な事情を除きます。）効果は１５年程度持続すると言われています。

２　定期的に胸部エックス線検査を受けましょう！

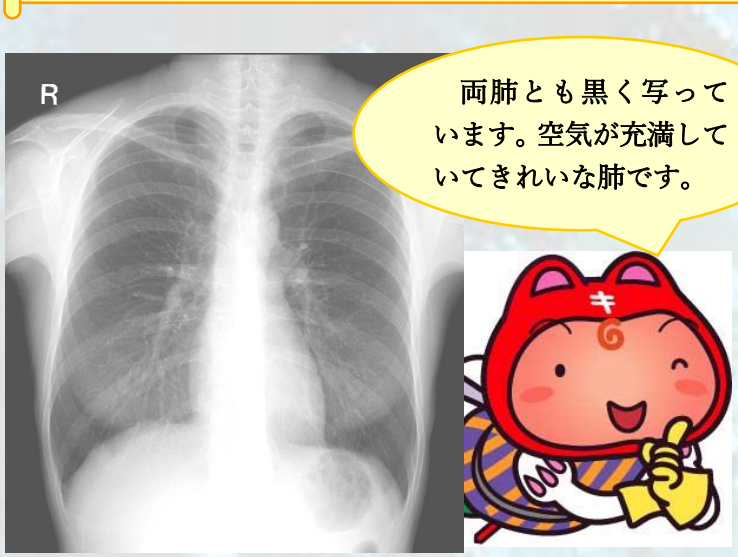
早期発見のために、年１回は、住民健診・職場健診・学校健診等を忘れずに必ず受けるようにしましょう。

３　自分でできる予防方法！

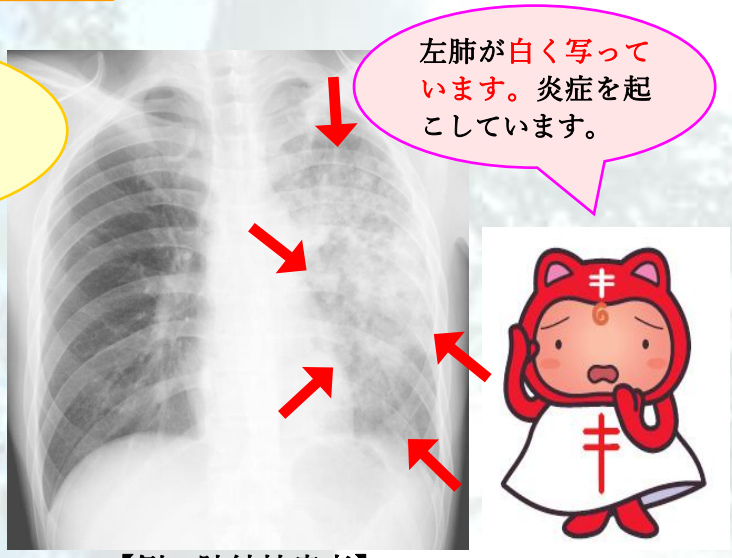
どのような病気にもいえますが、バランスのとれた食事・十分な睡眠時間・適度な運動等に気を配り、自分の免疫力を高めることが大切です。

令和３年の結核罹患率は9.2となり、
結核低まん延国となりました。
（令和２年までは「中まん延国」でした）

ここで、ちょっと胸部エックス線写真の一例をご紹介



【例：健常者】



【例：肺結核患者】

山形県庄内保健所　保健企画課　感染症対策担当
住所：山形県東田川郡三川町大字横山字袖東１９-１
TEL：0235-66-4920

＊結核については、庄内保健所のホームページからもご覧いただけます→